

国土交通省へ意見書を提出

足立区議会は、竹ノ塚駅付近連続立体交差事業を行うための財源を安定的、継続的に確保するよう求めるため、平成21年10月26日、国土交通省を訪ね、意見書を提出しました。



国土交通副大臣に意見書を手渡す鴨下稔議長

性は向上したものの、依然として多くの歩行者、自転車が踏切を横断している状況に変わりはない。「開かずの踏切」による事故の危険性と地域の分断を解消するには、抜本対策である鉄道立体化の早期実現が不可欠である。

同時期に足立区議会では、いち早く全議員で構成する「足立区議会鉄道高架化促進議員連盟」を地域では「竹ノ塚駅鉄道高架化早期実現の会」を設立した。これらの組織は、地域住民、足立区、足立区議会からなる「竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会」を結成し、鉄道高架化の早期実現を目指し積極的に関係機関への要請活動を行ってきた。

この結果、国は、連続立体交差事業の採択案件を拡充し、平成19年度には新規着工準備箇所として採択され、平成21年6月には都市計画案説明会が開催されるなど、事業は異例ともいえるスピードで進捗している。現在は、平成23年度の事業認可取得を目指し、詳細検討及び環境影響評価調査等都市計画決定に向けた手続きを進めている。

足立区内の東武伊勢崎線竹ノ塚駅構内の第37号及び第38号踏切は、「開かずの踏切」としてかねてより懸案の踏切であったが、多額の事業費や法制度の問題などにより、鉄道立体化の実現には至らなかった。

東武伊勢崎線(竹ノ塚駅付近)連続立体交差事業などを推進するための安定的な財源の確保を求める意見書

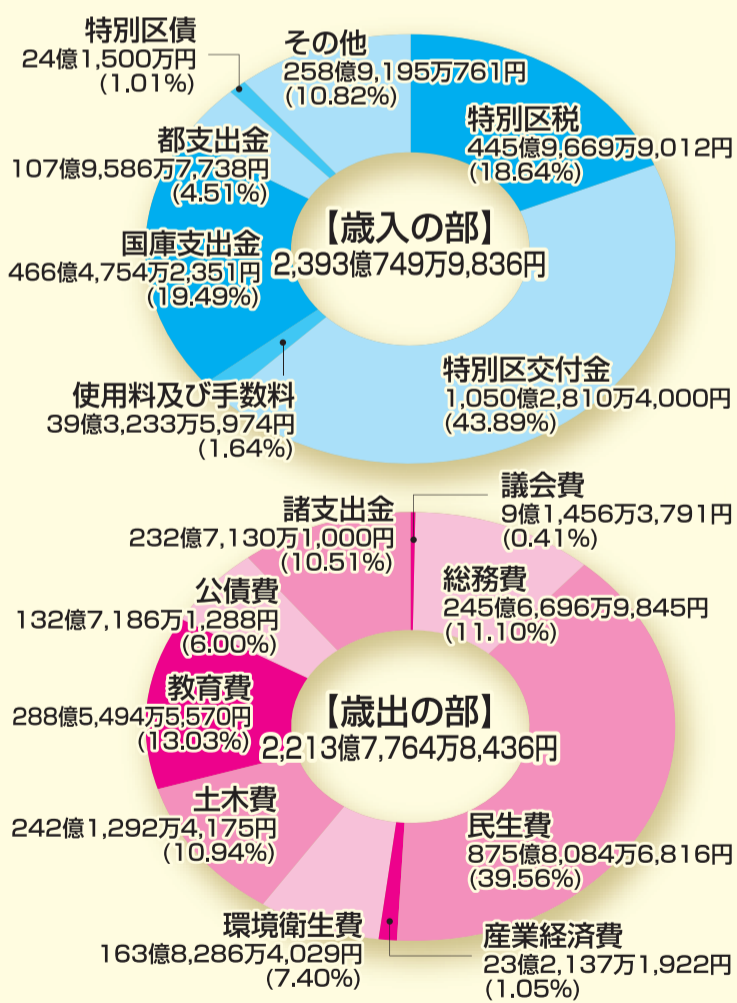
このような状況下、第37号踏切において平成17年3月15日に4名の死傷者を出す痛ましい事故が発生した。事故後、国、東京都、足立区及び東武鉄道株式会社は協力して、エレベーターつき歩道橋の新設などの緊急対策を講じ安全



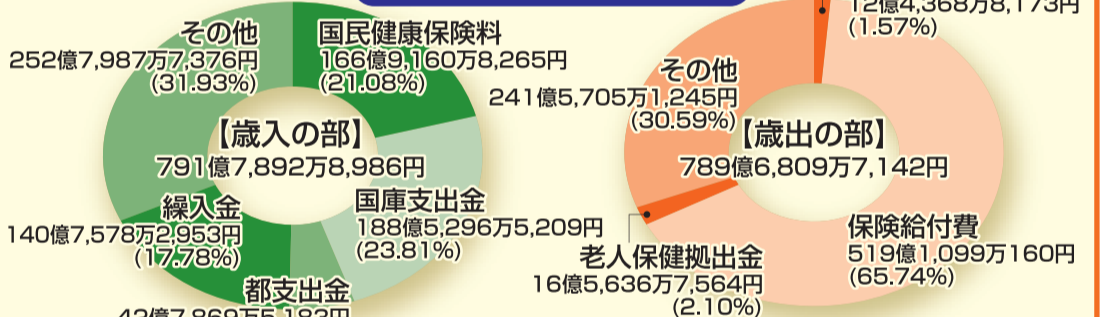
要請活動の様子

平成20年度 各会計決算

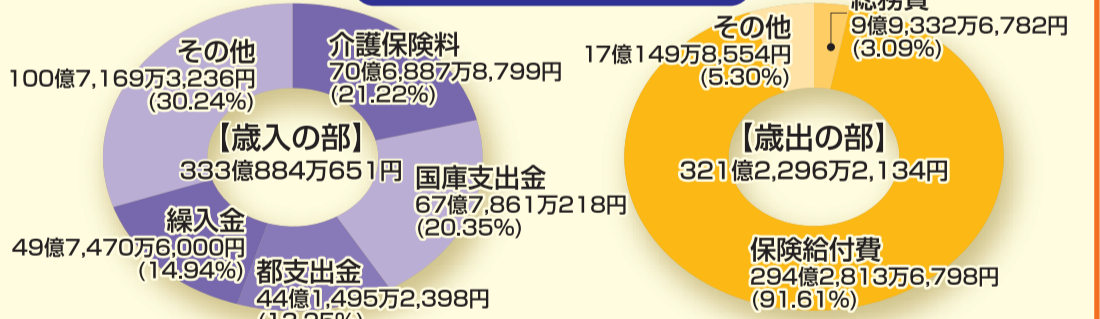
一般会計



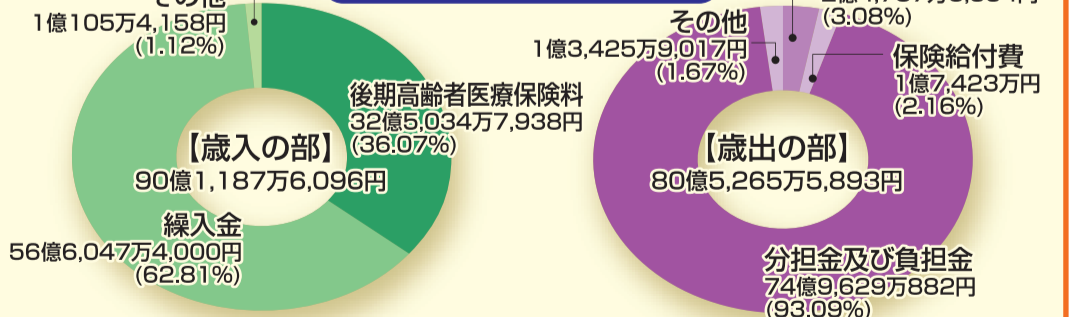
国民健康保険特別会計



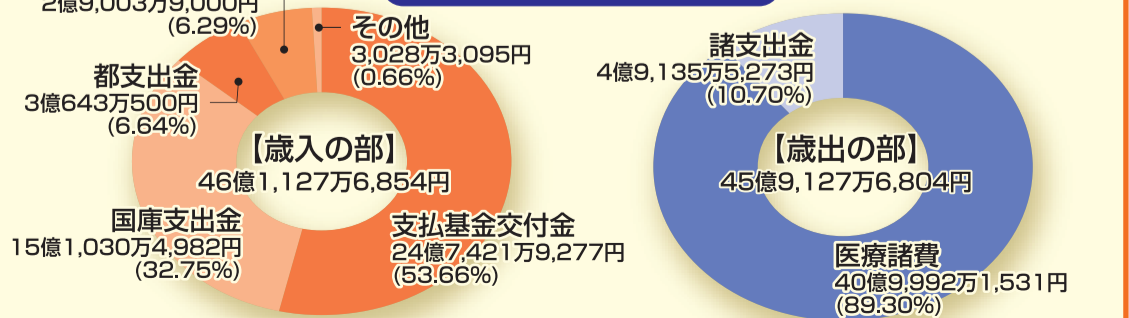
介護保険特別会計



後期高齢者医療特別会計



老人保健医療特別会計



区議会ダイアル

- List of council members and their contact information: 足立区議会自由民主党, 足立区議会公明党, 日本共産党足立区議団, 足立区議会民主党, 無党派.

\*議員の連絡先は、わたしの便利帳や区議会ホームページなどでご確認ください。区議会事務局にお問い合わせください。

足立区議会事務局 ☎3880-5996 ホームページ http://www.gikai-adachi.jp